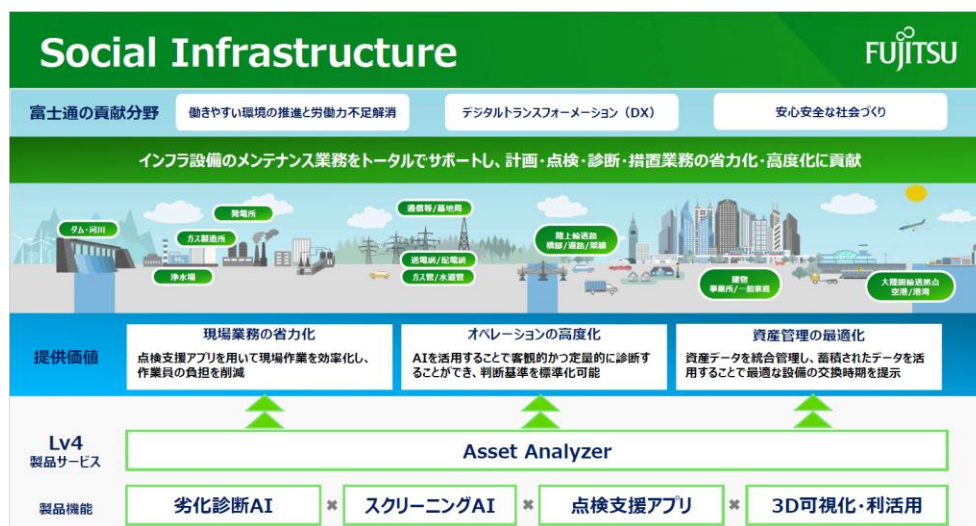


安心安全・生活の質・生産性の向上を図り、 持続可能な社会インフラを実現

富士通のSocial InfrastructureはAI診断やデジタルツインを活用し、インフラ設備のメンテナンス業務をトータルでサポートし、計画・点検・診断・措置業務の省力化・高度化に貢献します。

Asset Analyzerは劣化診断AIと可視化サービスを活用した、インフラ設備のメンテナンス業務における点検・診断を包括的に支援するサービスであり、Social Infrastructureの目指す、インフラメンテナンス業務のトータルサポートに貢献します。



提供サービス

- 1

AI利用サービス

AIを用いて、二次元画像から「ひび」、「錆び」、「剥がれ」などの設備の外観の劣化を診断します。
- 2

モデル生成/改善サービス

お客様が保有する画像データを活用し、設備固有の特性を反映したカスタムAIモデルの作成および改善を行います。
- 3

点検支援アプリ利用サービス

アプリケーションによって現場作業者の診断データの取得・連携支援を行います。
- 4

可視化サービス

誰でも直感的に理解できる3Dデータを白地図とした可視化・利活用サービスを提供します。
- 5

可視化導入サービス

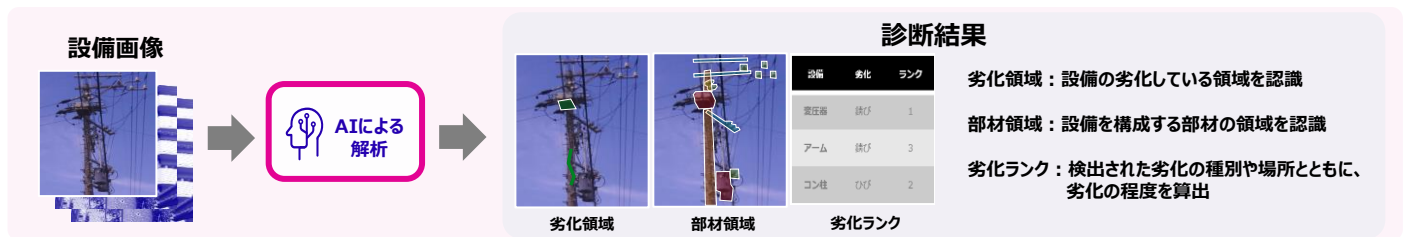
点群の整理・変換、資産情報との連携、3Dシミュレーションなど、実運用に耐える可視化環境を構築します。

選ばれる理由

現場業務の省力化	オペレーションの高度化	資産管理の最適化
従来では専門スキルを持った技術人材が行っていた近接目視点検などの現場業務について、診断支援アプリを用いたスマホでの撮影や車両を用いて収集されたデータに対してのスクリーニングを行うことで、業務を省力化します。	劣化診断業務では、AIを活用することで客観的かつ定量的に診断することができ、判断基準を標準化可能。収集した大規模なデータも効率的に処理することができます。	設備、環境、劣化診断データを統合管理し、それら蓄積されたデータを活用することで最適な設備の交換時期を提示。ライフサイクルコストを削減・最適化します。

活用イメージ

診断AIの活用イメージ



3D可視化サービスの活用イメージ



導入効果

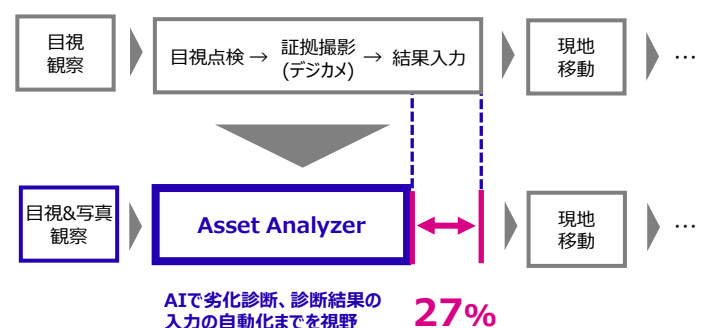
1. 過剰投資の抑制

- 設備の劣化程度/交換要否について属人化している判断基準を、AIにより標準化、設備過剰廃棄を約**15%**削減します。



2. 診断作業時間の削減

- 劣化診断および結果入力の作業をAIが代替することによって、診断作業にかかる時間を約**27%**削減します。



お問い合わせ先

富士通株式会社

[お問い合わせフォーム](#)